



細見川にやまめを放流する八東保育所の年長児

元気に大きく育ててね！
町内の保育所園児がやまめ放流

水や魚とのふれあいを通じて溪流魚の育成や環境の保全を図ろうと、私都川、大江川、細見川に私都養殖漁業生産組合で体長5センチほどに育ったやまめの稚魚約3千尾を放流しました。

放流には、郡家東保育所、船岡保育所、八東保育所の園児らが参加。町職員から自然環境を守る大切さについて学んだ後、バケツに入った稚魚を「おおきくなあれ」と声をかけながら放流しました。
やまめの稚魚は一年後、手の平サイズに成長します。

八頭中学校職場体験学習

「ワクワク八頭中」



職場体験を通じて地域や実際に働く人たちの活動に触れ、働くことの意義や自分が社会に貢献できることを考えようと、町内外の事業所55カ所にご協力をいただき、八頭中学校2年生が5月16日～18日の3日間、職場体験を行いました。

このうち、八頭町役場で職場体験した高垣遥翔さん（右）と田村雅尚さん（左）は、仲間がほかの事業所で職場体験している様子を記者となって取材しました。

取材後に記事作成にも取り組みましたので、ご紹介します。



色ペンを使ったり、文字の大きさを変えて、読みやすいチラシを作成

八頭町社会福祉協議会で
職場体験

八頭町社会福祉協議会の主な仕事は高齢者のサポートだそうです。取材時は、高齢者の家に弁当を届ける際に配っている熱中症予防を呼びかけるチラシを作成していました。

また、地域の方の相談相手として民生委員の役割についても初めて知ったそうです。二人は「高齢の方と会話をする際は、話すスピードや声の大きさに気を付けた。笑顔で仕事をすることを心掛けた」と話していました。

（高垣遥翔記者）

鳥取ブックセンター郡家店で
職場体験



本を透明フィルムに入れ、熱を与えて収縮させる専用の機械を通すと包装が完了

鳥取ブックセンター郡家店で職場体験を行った二人は本が好きでこの事業所を希望したそうです。取材時は、小説や漫画本をキズや汚れから守るため「シユリンク」と呼ばれる包装の作業を行っていました。ほかにも、品出し、掃除、入荷した商品の確認などの仕事を体験したそうです。

また、店員の方にもインタビューすると、「売りたい本は、陳列の仕方を変えたり、ポップを作って、手に取ってもらえるよう工夫している」と話されました。

（田村雅尚記者）